財　　政　　方　　針

現在の我が国の景気の先行きは、令和８年１０月の月例経済報告におきまして、「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。」とされています。

また、財政状況については、令和８年度一般会計における公債依存度は２４．２％、長期政府債務残高は１，２０１兆円、長期政府債務残高の対ＧＤＰは１７３．５％と膨大となっており、厳しい状況となっています。

本市の財政状況を概観しますと、歳入の根幹である、市税は収入額、収納率ともに堅調に推移しているものの、一方では、物価高騰や労務単価の上昇等による経常経費の増加、公共施設の老朽化に伴う改修や大規模プロジェクトの実施による普通建設事業費の増加並びに市債残高の増加及び金利上昇による公債費の今後一層の増加が見込まれるなど、財政状況の厳しさが増しています。

このような厳しい財政状況のなかではありますが、引き続き、市税等の収納率向上、使用料・手数料の見直し、市有地の積極的な売却に加え、ネーミングライツ、クラウドファンディングの導入などにより、財源の確保に努めるとともに、変化する社会情勢や市民ニーズを的確に把握しながら、既存事業の見直しと真に必要な施策への効率的・効果的なメリハリある財源配分を図ることにより、持続可能な財政運営を推し進めて参ります。

今後も、現場第一主義、市民目線のもと、市民が「住んでよかった、これからも住み続けたい」と実感できる、「真に選ばれるまち、輝くまち川口」の実現に取り組んで参りたいと存じます。